

【K】



PERSOL

横須賀市再犯防止対策連絡会議

パーソルサンクス株式会社 よこすか・みうら岬工房 事業説明

2023年1月17日

パーソルサンクス株式会社 神奈川事業部
よこすか・みうら岬工房 マネジャー 岩崎 諭史

パーソルグループの概要

グループ概要

社名 **パーソルホールディングス株式会社**

創業 **1973年** (テンプスタッフ設立)

代表者 **代表取締役社長 CEO 和田 孝雄**

連結売上高 **1,060,893百万円** * 2022年年3月期

連結従業員数 **60,675名** * 2022年3月31日時点

本店所在地 **東京都渋谷区**

上場市場 **東京証券取引所市場第一部**

主要会社 **パーソルテンプスタッフ**

パーソルキャリア (旧インテリジェンス) など

グループ会社数 **計136社** (国内: 40社 海外: 96社) * 2022年10月1日時点

グループ拠点数 **計629拠点** (国内: 469拠点 海外: 160拠点) * 2022年2月時点

ビジョン

はたらいて、笑おう。

経営理念

雇用の創造

人々の成長

社会貢献

パーソルサンクスの概要

■ パーソルサンクス概要

社名 パーソルサンクス株式会社 (パーソルグループ特例子会社)

資本金 10百万円 (パーソルホールディングス株式会社100%出資)

代表者 代表取締役社長 中村 淳

設立 1991年12月12日 (特例認可：1994年)

本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 2階

従業員数 648名 ※2022年9月1日時点

(障害者社員496名：知的障害308名、精神障害121名、身体障害67名)

拠点数 池袋・文京 (東京)、横浜×2・横須賀×2 (神奈川)、

富岡×2・前橋 (群馬)、いすみ・新浦安 (千葉) 全11拠点

農業における「人材確保や担い手不足」と、障害者就労の「雇用先の不足や職域拡大」、双方が抱える課題を連携し解決していく「**農福連携**」が、近年、注目されてきており、全国的な広がりをみせています。

農福連携によって期待されている成果

農業サイド

- (1) 安定した人材の確保
- (2) 生産性の向上
- (3) 耕作放棄の予防
- (4) 農地規模拡大
- (5) 農業所得拡大

障害者雇用サイド

- (1) 新たな職域の確保
- (2) 社会参画の促進
- (3) 地域との交流促進
- (4) 障害福祉への理解促進
- (5) 心身の健康向上

< 3つの分野からの農福連携の取り組み >

福祉事業所

社会・地域参画、就労機会

企業体・特例子会社

障害者雇用の創出、職域開発

農家・農業法人

農業経営の人材確保

パーソルサクス

【K】 ■よこすか・みうら岬工房について①



事業目的

農業分野における障害者雇用の創出、職域開発を目的として開設。

事業所

- ▲よこすか・みうら岬工房長沢 2018年10月開設
- ★よこすか・みうら岬工房大矢部 2021年2月開設

社員数

- ・スタッフ 10名 (マネジャー、リーダー、指導スタッフ含)
- ・メンバー 29名 (障害のある社員)

(2023年1月1日現在)

農業と福祉と包括的な連携推進に関する協定書



農業分野での障害者の雇用創出を連携して推進していくことを目的として「農業と福祉との包括的な連携推進に関する協定書」を2018年6月19日に横須賀市と締結。

自治体と特例子会社による農業分野での障害者雇用促進の協定は全国初の試み



上地克明 横須賀市長

「誰も、ひとりにさせないまち」の実現を、市長として強い想いで、掲げています。皆さんの笑顔溢れ、横須賀市の農家の皆さんと一緒に働く姿は、まさに、私の想いを実現している姿で、感動しています。

福祉、教育、農家の皆さんからの期待の声も沢山、伺っております。横須賀市として、これからも障害者雇用の促進に取り組んでいきたい。

勤務日及び時間

- ・月曜日～金曜日 8:00～16:30
- ・休日は、土日祝日、年末年始
- ・土日祝日に関しては繁忙期、収穫期の場合は出勤

受託農作内容

圃場整備（畑でのしごと）

- ・草取り、マルチ張り、収穫後の片づけ、ハウス維持管理
果樹園の維持管理

定植

- ・農作物の苗の定植

収穫

- ・農作物の収穫

出荷調整

- ・収穫した農作物の袋詰、梱包、洗浄作業

販売補助

- ・農家が経営する直売所の販売補助業務

1日の業務スケジュール(メンバー)

時間	項目
8:00	朝礼 作業農家へ移動
8:30	午前農作業開始（適宜休憩）
12:00	昼食
13:00	午後農作業開始（適宜休憩）
15:30	作業終了
15:40	片づけ、掃除、洗濯、日報記載
16:25	終礼
16:30	退社

農作業受託農家数 (2022年9月1日現在)

横須賀市：11軒 三浦市1軒

【K】 ■ よこすか・みうら岬工房の農作業について①



【K】 ■ よこすか・みうら岬工房の農作業について②





誠実にすべてことに、向き合うこと

芽生える、**プロフェッショナリズム**

顧客の期待を超えようとする想い

【K】 ■ 農業で得られた成長の機会②



「**本当に**作業を任せて大丈夫か」

事業開始の際は、**厳しい**お声をいただくことも。



チームワークで
目標に向かって
挑戦と変革を続けていくこと

【K】 ■ 農業分野での障害者雇用の促進のために

■ 農業と福祉の連携を推進するための要素

① 障害特性と農作業とマッチング。

- ・障害特性に応じた、作業配分、指示、予定を組んでいくことで、作業スキルは向上。

② 農家（農業）と障害のある方をつなぐ、コーディネーター的な人材育成

- ・農家と関係構築、障害特性を把握して指導できる人材の確保と育成が推進の鍵。

③ 目的や目標をもって、農福連携に取り組んでいくこと。

- ・学校・福祉事業所→社会への参加、就労訓練、地域との連携
- ・企業・特例子会社→障害者雇用、事業開発



農業は多岐にわたる作業があり、障害特性にあった農作業を通じて、個人の成長、社会や他者との関係性の広がり、生活の豊さなどに繋がっていく

農業・福祉・企業・障害者 すべてが経済成長できること



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	